



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル: CASBEE大阪みらい (新築) | 使用評価ソフト: 「CASBEE大阪みらい 新築」2024年版 (v.1.0.2)

1-1 建物概要		1-2 外観
建物名称	京都線・千里線淡路駅周辺連続立体交差工事に伴う淡路駅舎新築工事	
建設地	東淀川区東淡路4丁目	
建物用途	鉄道駅舎	
建築主	阪急電鉄(株)	
設計者	阪急設計コンサルタント(株)	
竣工年	2030年8月 予定	
構造/階数	S造 / 地上2階	
敷地面積	7422.43 m ²	
建築面積	3005.87 m ²	
延床面積	3197.14 m ²	

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

B- **BEE = 0.9** ★★☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B-: ★★★★★ C: ★

2-2 ホールライフカーボン (温暖化影響チャート)

★☆☆☆☆ 30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

項目	建設	修繕・更新・解体	運用	ロンスイト	ロオフサイト
①参照値	100%				
②建築物の取組み	84%				
③上記+②以外の オンサイト手法	84%				
④上記+ オフサイト手法	84%				

このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたWLC排出量の目安で示したものです。
④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 **Q のスコア = 2.8**

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

項目	スコア
音環境	2.6
温熱環境	2.9
光・視環境	2.8
空気質環境	3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

項目	スコア
機能性	2.9
耐用性・信頼性	3.1
対応性・更新性	3.4

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.4

項目	スコア
生物環境	1.0
まちなみ・景観	3.0
地域性・アメニティ	3.0

LR 環境負荷低減性 **LR のスコア = 3.0**

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.6

項目	スコア
建物外皮の熱負荷	4.2
自然エネルギー	3.0
設備システム効率化	2.2
効率的運用	2.2

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

項目	スコア
水資源保護	3.4
非再生材料の使用削減	3.7
汚染物質回避	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

項目	スコア
地球温暖化への配慮	3.6
地域環境への配慮	2.3
周辺環境への配慮	3.0

3 設計上の配慮事項	
総合	その他
大阪市東淀川区に建設される新駅舎の計画である。 外皮性能を高め、節水型器具の採用等により、環境負荷の低減に配慮した建物である。	-
Q1 室内環境 ほぼ全面的にF☆☆☆☆の建材を使用し、全館禁煙の建物とすることで室内の良好な空気質環境の確保を図っている。	Q2 サービス性能 階高や壁長さ比率に余裕を持たせ、ゆとりのある計画とし、機能性に配慮している。
Q3 室外環境 (敷地内) 視点場からの外観パースによる検討等、良好な景観形成へ配慮した取り組みがある。	
LR1 エネルギー 断熱性の高い材料を採用し、建物の熱負荷抑制に配慮している。	LR2 資源・マテリアル リサイクル材を積極的に使用しており、非再生資源の使用量の削減を図っている。
	LR3 敷地外環境 高効率な設備機器の採用によりWLC排出率量の削減に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.9

ラベル表示



環境性能		評価点
(1)CO2削減		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮	3.6
配慮事項	高効率な設備機器の採用によりWLC排出量を低減している。	

環境性能		評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策		2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能		概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出	1.0
Q3 / 3 /3.2/	敷地内温熱環境の向上	3.0
LR3/ 2 /2.2/	温熱環境悪化の改善	2.0
配慮事項	特になし。	

環境性能		評価点
(3)建物の断熱性		4.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制	4.2
配慮事項	断熱性能の高い建材を使用している。	

環境性能		評価点
(4)エネルギー削減		2.0
CO2削減に配慮した環境性能		概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化	2.2
配慮事項	特になし。	

省エネルギー基準計算結果

基準適合状況	適合
--------	----

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること
※ 住宅部分の一次エネルギー消費量については、BEIが1.0以下であること
※ 非住宅部分の一次エネルギー消費量については、「建築物エネルギー消費性能基準等を定める省令(以下、「省令」という)」第1条第1項第1号もしくは、省令第1条第1項第3号に掲げる基準以下であること。

外皮性能	住宅部分（品確法等級）	非住宅部分[BPI][BPI _m]
	対象外 (相当)	0.88
一次エネルギー消費量	住宅部分[BEI]	非住宅部分[BEI][BEI _m]
	-	0.75